

河内小だより

平成22年8月31日 No.20

7月21日(水)より8月30日(水)までの41日間の長い夏休みが終わりました。長い夏休みだからこそできたことをいろいろと体験したことでしょう。自ら進んで学んだものは記憶に残り、大人になっても忘れないものです。これからの学習に生かして頑張ってほしいものです。

また、規則正しい生活が乱れ、だらだらと過ごしたこともあったと思います。「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ」を思い出し、日頃の努力の積み重ねを忘れず、さらに多くのことを学校で学んでほしいと願っています。

今年も引き続き、「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ」運動

今年度も引き続き、習慣化するまで「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ」運動に取り組みましょう。十分な睡眠時間の確保は、学習時間での「脳」の活性化を促します。バランスのとれた食事は、「脳」の活性化や体力向上につながります。コミュニケーション能力の向上は、心をこめたあいさつからです。お互いを知り合うことから、安全面への配慮も行き届くし、困ったときの相談相手の輪も広がります。これらのことは毎日継続することによって、習慣化し効果が現れてきます。根気強く、規則正しい生活習慣を身に付けることが、学力向上につながっていきます。



〈夏休みを振り返って〉

1. サマースクール(水泳指導)

正に少人数指導、全職員での指導と子どもたちの頑張りがあり、見違えるほど泳げるようになりました。水への恐怖心を克服することと、息継ぎを覚えると、子どもたちはどんどん上達していきます。

これから子どもたち自身が、もっと泳げるようになりたいと思う気持ちと実行力によって、さらに泳力は伸びてくると思います。これからが楽しみです。



2. プール開放

監視をしてくださった皆さん大変暑い中ありがとうございました。今年は特に猛暑が続くプールサイドの暑さは大変だったことと思います。PTAの役員を中心に監視員探しから当番表の確定まで、大変お世話になりました。子どもたちにとっては、毎年の楽しい思い出の1ページになったと思います。

